

やつて魅せよう! 大人の背中

あたりまえだけど
大切なこと

きちんとした
言葉づかいを
しましよう。

「言葉づかいは人柄をあらわす」とも
言われます。普段からきちんとした
言葉づかいを心掛けることで、自分の
人格形成だけでなく、他者を敬う
心が育まれます。

相手の
立場になって
考えましょう。

自分の行動や発言に責任を持って、相手の
気持ちを常に考えながら「自分が
されて嫌なことは、相手にもしない」
という思いやりの気持ちを
心掛けましょう。

素直な心を
身につけましょう。

人は皆間違いを犯します。しかし
そこで間違いを認め、反省し、その
経験から学び取ることで人として
成長出来ます。日常のささいな
間違いも素直に認める姿を
見せてていきましょう。

集団で行動
するときは秩序を
守りましょう。

人が集まる場面では、秩序を守って行動
することが大切です。そこから良好な
人間関係が生まれ、良好な人間関係から
良い家庭、良い社会が生まれます。

決められた時間、
約束の時間を
守りましょう。

会議での集合時間や、子どもとの約束の
時間など、私たちが子どもの頃教えたられた
「5分前行動」をしましょう。自分のため
だけではなく、待ってくれている
相手のためにも必要な行動です。

笑顔で明るく
挨拶をしましょう。

挨拶は生活の基礎であり、「一人で
生きているわけではない」という
証でもあります。また、笑顔で明るく
挨拶することで、お互いが
清々しく、自然と前向きな
気持ちになります。

厳しさと
優しさを
持ちましょう。

感情に流されず自分に対しても、
他者に対しても、厳しさと優しさを
適切に保ちながら接して
いきましょう。
それがお互いの成長に
つながります。

あらゆる人に
感謝の気持ちを
あらわしましょう。

家族や仲間同士での気遣いやお店での
サービスなど、当然と思ってしまう
場面でも「ありがとう」の一言が
言えるようになりたいものです。
他者への感謝の気持ちを
持てることは、人を慈しみ
愛する心に繋がります。

自分自身の
理想像を持ち、
それを目指しましょう。

目標は成長を促します。理想を持ち、
それを目指すことが人としてのあるべき
姿のひとつではないでしょうか。
身近なことから努力する、挑戦する
背中を子どもたちに
見せてていきましょう。

ポスターの作製に当たっては
「みんなのためのルールブック」
(ロン・クラーク著、亀井よし子訳、草思社)
を参考にしております。

